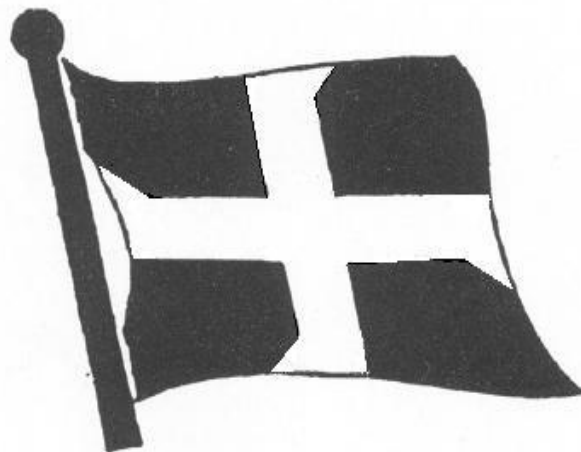


蒼穹ニユース

No.3

七大戦展望号

平成21年7月21日発行



～～～ 目 次 ～～～

1. 主将・女子主将・監督挨拶
2. 七大戦競技日程
3. 七大戦展望
4. 記録会の結果など

## 主将挨拶

来る7月25・26日に東京を舞台に七大戦が開催されます。昨年は下馬評を覆す2位という結果となり、優勝には届かなかったものの、チームとしての勢い、強さを感じることも出来た試合でした。この勢いがあればきっと未来は明るい、そう楽観もしたものでした。ですが、先日の関西インカレにおいて2部降格。直視できない、でも直視しなくては行けない現実が待ってしまいました。それでも我々はその悔しい思いを胸に、次の、このチームの1年の集大成となる七大戦にむけて努力をし続けています。地道でゆっくりではありますが着実に地力は上がっています。そして、それを少しずつ実感してきています。また、意識の高い一回生が入ってきてくれたことで、チームに刺激を与えてくれています。七大優勝という栄光をチーム一丸となって手にしたい、その思いを強く持ち、あとわずかな日々を充実させ、より強いチームを目指して精進を重ねて参ります。

25日は大井陸上競技場にてオープン種目と並行してハンマー投・円盤投が前日開催、26日は国立競技場で本戦となっております。蒼穹会の皆様にも当日是非試合会場に足をお運びいただければ幸いです。ご声援のほど、よろしくお願い致します。

京都大学陸上競技部主将 佐藤 慎祐

## 女子主将挨拶

昨年度七大戦、女子は総合6位と大変悔しい思いをしました。今年も厳しい状況が予想されましたが、穴種目を中心に冬期から七大への取り組みを始め、新入生の勢いも加わった結果、七大学の上位で戦える戦力へと成長してきています。今年は2年ぶりの3位入賞はもちろんのこと、優勝を狙って、七大戦へと臨んで参ります。今年女子部は男子に劣らず、非常に見応えのある試合ができると思われれます。いつも試合にお越しにいたっている蒼穹会員の方々はもちろんのこと、女子部卒の蒼穹会員の方も是非大勢、国立競技場に足を運んでいただき、選手達に声援を戴けると幸いです。

京都大学陸上競技部女子主将 冨田 夏希

## 監督挨拶

今シーズン、苦しい戦いの続いていた京大陸上部ですが、先日の競技会では、多くのベスト記録が生まれました。今、チームは七大戦での優勝へ向けて勢いづいています。

ランキング上は、男女ともに大阪大に次ぐ位置となっていますが、当日の調子、雰囲気しだいで大きく順位が変動するのが七大戦です。部員全員が一致団結し、最後まで諦めずに力を出しつくすことができたとき、男女そろっての総合優勝に手が届くと信じています。

本年は、ハンマー投・円盤投が本戦に先駆けて行われるという変則的な日程となります。ぜひとも多くの先輩方に競技場に足を運んでいただき、ご声援をいただきますようお願い申し上げます。

京都大学陸上競技部監督 平子 達也

## 七大戦競技日程

《対校の部（投擲一部） + オープンの部》 7月25日(土) 大井陸上競技場

＜投擲＞			
13:45	男子	ハンマー投	(決)
15:15	男子	円盤投	

《対校の部》

7月26日(日) 国立陸上競技場

9:00 開会式			
トラックの部			
9:30	男子	3000mSC	(決)
9:50	女子	400m	(予)
10:00	男子	400m	(予)
10:25	男子	110mH	(予)
10:50	女子	100m	(予)
11:00	男子	100m	(予)
11:20	男子	1500m	(決)
11:40	男子	400m	(決)
11:55	男子	110mH	(決)
12:10	女子	100m	(決)
12:20	男子	100m	(決)
12:30	女子	800m	(決)
12:40	男子	800m	(予)
13:00	男子	400mH	(予)
13:30	男子	200m	(予)
14:00	女子	3000m	(決)
14:20	男子	4×100mR	(決)
14:40	男子	400mH	(決)
14:50	女子	400m	(決)
15:00	男子	800m	(決)
15:10	男子	200m	(決)
15:20	男子	5000m	(決)
15:50	女子	4×100mR	(決)
16:00	男子	4×400mR	(決)

フィールドの部			
＜跳躍＞			
9:30	女子	走高跳	(決)
9:30	男子	棒高跳	(決)
11:00	男子	走幅跳	(決)
12:30	女子	走幅跳	(決)
12:30	男子	走高跳	(決)
14:00	男子	三段跳	(決)
＜投擲＞			
11:30	男子	砲丸投	(決)
13:00	男子	やり投	(決)
14:00	女子	砲丸投	(決)
16:30	閉会式		

### 交通アクセス

大井陸上競技場－東京モノレール大井競馬場前駅から徒歩約8分

国立競技場－地下鉄大江戸線国立競技場駅から徒歩約1分

## 七大戦展望

(記録はエントリー時のもの)

### ～短距離佳～

#### 100m

久保 慶護 (4)	11.05
吉田 繁治 (3)	10.94
眞武 俊輔 (1)	11.22

100mには短短を牽引する2人に加え、フレッシュな1回生がメンバーに入った。吉田は長い不調のトンネルから抜け出せなかったが、ここにきて復活への糸口を掴んだ。阪大の武田が10"75をマークするなど吉田にとって焦る要因もあるが、冷静に、かつ熱く勝負に臨んでほしい。久保は関カレごろから痛めていた怪我の影響が懸念されていたが、ここにきて調子をあげてきた。2年前の爆走をもう一度我々に見せてもらいたい。眞武はベスト11"18をもつ注目ルーキーである。この時期にベスト付近まで記録を戻してきたため、本番ではベスト更新も望める。短距離全体に勢いをつける走りを期待したい。



優勝の期待がかかる短距離エース吉田

#### 200m

吉川 直樹 (4)	23.14
吉田 繁治 (3)	22.24
前田 峰尚 (3)	23.37

久保・萩生は他種目との兼ね合いから出場を回避する。ランキングで3位に入っている吉田。阪大の武田が21"37をマークするなど吉田にとって焦る要因もあるが、冷静に、かつ熱く勝負に臨んでほしい。吉川は眼前に立ちほだかる“22秒台の壁”をなかなか乗り越えられないでいる。あとは気持ち次第かと思われるため、最後の七大、背水の陣で臨む。前田峰はエントリー締め切りぎりぎりですり込んだ。前田も今シ

ーズンはなかなか思うようなタイムを出せずに苦しんでいたが、土壇場でタイムを出してくるあたりに今の勢いを感じる。こちらも“22秒台の壁打破”とともに、決勝進出を目指して欲しい。

#### 400m

萩生 翔大 (3)	49.20
山瀬 康平 (3)	52.28
堀田 孝之 (1)	53.01

山口・吉川は他種目との兼ね合いから出場を回避する。萩生に死角はない。敵は阪大の高野、九大のルーキー・山下といったところか。春先以降ベスト更新から遠のいているのが唯一の気がかりではあるが、それは七大で爆走するための助走に過ぎない。安心してレースを見守ってほしい。山瀬はここにきてかなり調子を上げてきた。しかし、練習の走りを見ればここで止まる程度の選手ではない。高校以来止まっているベスト更新を達成し、これからのチーフ生活に勢いをつけてほしい。堀田も1回生でメンバーに滑り込んだ。大学から短距離に転向した期待のルーキーはすでに七大に向けて気持ちを高めている。若さを活かした積極的な走りで我々をあっと言わせてほしい。

#### 110mH

前田 靖朋 (3)	16.43
大橋 正義 (2)	16.53
清水 宏幸 (1)	17.7

今やトッパー陣を牽引する存在となった前田靖。ハードルを跳ぶ姿もすっかり板についてきた。調子も上向いてきており、7月に入って2度ベストで走っている。しかし、七大の舞台で戦うためには最低でも15秒台は必要かと思われる。失敗を恐れず積極的なハードリングに挑戦してもらいたい。その前田と切磋琢磨する形で大橋も調子を上げてきている。こちらも前田同様15秒台の走りに期待したい。今年もハードル選手が一人加わった。もともとはヨンパー選手である清水だが、積極的にトッパーにも取り組んでいる。まずは16秒台の走りを目指し、七大の舞台を肌で感じてもらいたい。

#### 400mH

岡本 京祐 (4)	57.89
山口 芳弘 (2)	57.01
大橋 正義 (2)	57.90

院試免除のリアルエリート・岡本。桂での多忙な研究生活により思うように練習を積めていないためか、

なかなかタイムを上げられずにいた。しかし西カレにおいて 56 秒台をマークし、復調の兆しが見えてきた。「8位、もういない」。岡本が見据えるのは上位入賞のみである。大橋は京選でベストを更新。トッパーと合わせて波に乗っている。56 秒台で固まっている今年のヨンパーなら、大橋にも十分決勝進出・得点の可能性はある。己を信じて積極的に攻めてほしい。悩める山口、練習不足は否めない。しかし殻を破る突破口として、無心でレースに臨んでもらいたい。そうすれば自ずと結果はついてくるだろう。

### 4×100mR

- 久保 慶護 (4)
- 吉川 直樹 (4)
- 吉田 繁治 (3)
- 秋元 一志 (2)
- 藤澤 健斗 (1)
- 眞武 俊輔 (1)

眞武は足の状態を考慮して、100m に専念することになった。代わりに三重選手権でベストパフォーマンスを見せた秋元が入る。走順は久保→吉田→秋元→藤澤を予定している。残された時間でどれだけバトンを完成できるかが勝負の鍵となる。また3走の代名詞・久保が1走にまわるなど、見所は盛りだくさん。阪大が41" 4前後の記録を安定して出しているためかなり手強い相手となるが、何が起こるか分からないのがリレー。周りを気にせず、京大ヨンケー陣がベストを尽くすまでである。

### 4×400mR

- 吉川 直樹 (4)
- 萩生 翔大 (3)
- 山瀬 康平 (3)
- 山口 芳弘 (2)
- 天ヶ瀬匡照 (2)
- 堀田 孝之 (1)

大会の最後を飾るマイルリレーだが、メンバーやオーダーは直前の調子によって決める。優勝争いは3' 20" 辺りか。この種目も阪大が好記録をマークしているが、なんとしても京大がその勝利を阻止する。萩生以外51秒を切れる選手がいないため、選手は能力以上の走りが要求される。七大というお祭り舞台で各個人が奮をはずし、大暴してほしい。

### 女子 100m

- 富田 夏希 (4) 12.80
- 廣瀬亜由美 (4) 14.01

ランキング2位に入っている富田。しかし北大の沼田や阪大の絹岡・澤村など強敵が揃っているため気を抜けない戦いとなるだろう。女子総合優勝を目指すためには、ここで高得点を稼ぎたいところ。富田の走りに女子部員の期待がかかる。廣瀬は初の七大100mの出場となる。13秒台が目前に迫っているだけに、この場で自己新を出してしまいたいところ。廣瀬の走りの良し悪しがリレーにも大きく影響するであろうから、短距離を勢いづける走りをしてもらいたい。



最後の七大戦へ一人一倍気合いが入る女子主将富田

### 女子 400m

- 岩橋 優 (1) 60.76
- 加奈山憲代 (1) 63.31

近年の京大女子400mでは最高レベルの選手が揃った。岩橋は完全に体が戻っていない状態で60秒台をマーク。ランキングで3位に入っている。800mとの兼ね合いで体力勝負となるが、蒼穹新・優勝を目指して頑張してほしい。加奈山も63秒台のタイムでランキング4位に入っている。足の状態に少々不安が残るが、そこはアドレナリンが何とかしてくれるだろう。63秒台に選手が乱立しているため、一人そこから抜け出してもらいたい。二人とも1回生。恐れを知らない若さあふれるレースを期待したい。

### 女子 4×100mR

- 富田 夏希 (4)
- 廣瀬亜由美 (4)
- 福谷 彩織 (3)
- 上田 容子 (2)
- 岩橋 優 (1)
- 加奈山憲代 (1)



走順は廣瀬→富田→加奈山→岩橋となる。7月に51秒台をマークした女子ヨンケー陣。バトンが完璧とはいえないレースでのこのタイムだけに、さらなる記録更新に期待がかかる。阪大が49秒台、北大が51秒台前半と高レベルな戦いとなるのは必至なため、一つのミスも許されない。各人が複数種目出場となるためバトンの連携に影響を与えかねないが、最終種目、力を振り絞ってもらいたい。

～中距離～

**800m**

小林 弘尚 (4)	1.59.70
大川 亮 (2)	1.57.01
水元 惟暁 (1)	1.58.08

小林は春先に幸先よく1分台を記録したが、多忙により思うようにレースに出場できていない。しかしコンスタントに1分台を出せる力はあるので、最後の七大戦で決勝の舞台へ駒を進めて欲しい。今シーズン好調の大川は先日の京都選手権で自己記録を更新し、一気に上位進出も視野に入ってきた。本人はこの記録にも満足しておらず、さらなる記録更新も期待できる。本番では表彰台が目標だ。期待の新人水元はすでに自己記録を更新し勢いに乗っている。躍動感あふれるフォームは器の大きさを感じさせる。勝負強さも持ち合わせている選手なので、混戦が予想される上位争いをかき回す存在になりうるだろう。



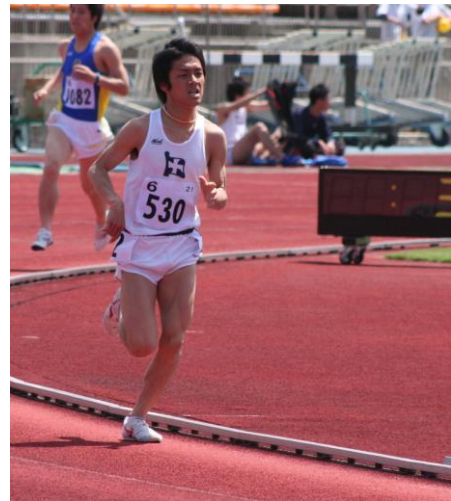
表彰台を目指す好調の大川

**1500m**

小山 裕之 (4)	3.58.09
-----------	---------

小山 俊之 (3)	3.51.47
坂本 剛 (3)	4.04.19

小山裕は春先に自身初の3分台を出して以来コンスタントに3分台をマークしており、好調を維持している。2連覇中の小山俊も、関西インカレや西日本インカレで入賞するなど戴冠に死角は見当たらない。ランキングは二人が独走している状態なので兄弟ワンツー・フィニッシュに期待が膨らむ。坂本は京都選手権で自己記録を大幅に更新し、目下絶好調の選手である。昨年は9位だったが、今年は上位を窺えるまでに力をつけた。小山兄弟はもちろん、坂本の成長により大量得点が期待できるので、楽しみな種目である。



小山兄弟に加え大量得点の期待がかかる坂本

**女子800m**

福谷 彩織 (3)	2.28.16
岩橋 優 (1)	2.14.19

福谷はなかなか2分30秒が切れずに苦しんでいたが、先日ついに壁を破り調子は上向きである。上位とはまだ差があるものの、モチベーションは高いので、積極的なレースで上位を脅かして欲しい。すでに蒼穹記録を4度更新しているスーパールーキー岩橋は、西日本インカレで決勝まであと0.5秒と迫り、規格外の実力を見せつけた。本番は多種目出場となるが、目指すのは頂点のみである。

～長距離～

**5000m**

小山 裕之 (4)	15.05.30
柿本 悠貴 (3)	15.02.94
小山 俊之 (3)	14.54.64

昨年1500mとともに二冠した小山俊(3)は今期良いタイムは出せていないが、この選手の勝負強さは折り

紙つきである。連戦続きであるが京大内で最も信頼の置ける選手なので今年も二種目二冠を達成してくれるだろう。小山裕（4）は昨年同様二種目出場となる。1500mでの疲労が懸念材料だが、実力的に2種目入賞は可能である。1500mで快走することができれば5000mも快走できるだろう。まずは1500mに注目してもらいたい。柿本は昨年この種目にエントリーしながらも怪我で出場できなかった。しかし今期は順調に調子を上げてきており、現在入賞圏内である。うまくはまれば小山俊をものぐ強さを遺憾なく発揮し得点できるであろう。例年通りスローペースになれば熾烈なスパート争いになる。ここでいかに抜け出すが勝負の分かれ目になりだろう。

### 3000mSC

櫻井 研吾（4）	9.47.31
山田 唯（3）	9.35.41

昨年七大本戦最初のこの種目で1、2位を獲得し、京大勢に勢いをつけることができた。今年もこの種目で大量得点をし、勢いに乗せたい。今年の出場は昨年準優勝の山田唯（3）と3年ぶり2度目の出場となる櫻井である。山田は冬に怪我をし、関カレ後にも怪我で戦線を離脱しているが、先日の京都選手権で好走し不安を払拭した。まだ完全復調ではないので更に調子上げ、優勝を確実なものにしたい。また櫻井は今期すでに3種目で自己ベストを更新し絶好調である。今の調子で行けば入賞はまず間違いない。京大の総合優勝は最初のこの種目にかかっているといっても過言ではないので、この2選手の走り、大いに期待される。



七大本戦最初の種目でどれだけ得点できるか チーフの櫻井

### 女子3000m

上田 容子（2）	11.38.74
伊藤 慶紗（1）	NR

女子3000mには二回生上田と一回生伊藤が出場する。上田は6月に大学ベストを更新し調子は上向いてきている。昨年の七大本戦では、上位選手とまったく勝負ができなかったので今年は積極的な走りをして、入賞、自己記録を狙ってもらいたい。伊藤は入部してからこつこつと練習をつんできている。まだまだ完全復調とはいかないだろうが、他大の有力選手に臆することなく積極的な走りをしてもらいたい。入賞ラインは10分台になると思われるが、真夏のこの試合では何が起こるかかわからない。両選手には最後まであきらめず、入賞をねらって走ってほしい。

### ～跳躍～

#### 走高跳

皆川 広太（4）	NR
巳波 壮馬（3）	1m70
松室 堯之（1）	1m80

皆川と巳波は1m85の生涯ベスト付近を見据えての跳躍練習に余念がなく、七大本戦にむけての気概を感じさせる。松室は跳躍にムラがあるものの高さはでているので、七大本戦に調子を合わせてきっちり力を出し切れば入賞も狙えるはず。1m85あたりが入賞ラインになると思われるが、明確なビジョンをもって強い意志で戦ってきて欲しい。

#### 棒高跳

小西 康晴（3）	4m20
秋元 一志（2）	4m50
田中 皓介（2）	4m50

小西は7月始めに足首を痛めてしまったが、京選で4m20を跳んで自己ベストを更新しているので、そのままの勢いで得点獲得に食らい付いてほしい。田中は岐阜県選手権で4m40を跳び調子は上向き。動きも春先とは大きく変化してきて期待が持てる。秋元も今シーズン高い水準での記録の安定を見せているので普段以上に勢いのいい跳躍に期待したい。今年是他大も4m20以上の選手を揃えてきており、昨年よりレベルの高い競技が予想されるが、三人には国立競技場で大暴れして、大舞台での自己ベストという今年の至上命題を達成してきてほしい。

#### 走幅跳

谷口 康晴（4）	6m84
田中 伸弥（4）	5m91
飯村 大智（1）	NR



谷口は関カレで自己ベストを更新し、入賞を狙えるレベルまで調子を上げてきた。ベスト8は6m80以上の選手がひしめく中、どこまで順位を上げれるかに期待したい。田中は跳躍フォームが以前と変わって、実力どおりの力を出せずにいるが、持ち前のスプリント力で上手く引っかけて大ベストを狙って欲しい。飯村は七大戦が大学初試合で、持ち記録も6m09とまだまだ発展途上だが、新入生らしい勢いある跳躍に期待したい。

### 三段跳

秋山 源 (4)	13m62
小長谷幸平 (2)	NR
飯村 大智 (1)	NR

秋山は13m後半の記録を今シーズンは出せていない。関カレで足首を痛め、体力的にも万全で挑むのは厳しいが、昨年はあと2センチで入賞というところまで伸び上がりを見せているので、七大戦の雰囲気の中で調子を上げてくれることに期待したい。小長谷と飯村は対校戦初出場で、競技力的にも対校戦を戦うにはまだ十分とはいえないが、本戦出場選手として雰囲気にもまれず堂々と元気よく戦ってきてほしい。

### 女子走幅跳

富田 夏希 (4)	5m11
-----------	------

今季スプリンターとしての飛躍を見せている富田。本職の走幅跳でも5mを跳べる動きはできている。七大戦への熱い気持ちを本戦にぶつけて大車輪の活躍をしてくれることを期待する。

## ～投擲～

### 砲丸投

嶋田研志郎 (4)	11m43
佐藤 慎祐 (4)	10m76
矢川 勝太 (2)	9m13

この種目には七大はこの種目初出場の佐藤、下位入賞の常連と評されている嶋田、次期投擲PCとなる矢川が出場する。佐藤は今月上旬の試合でベストを更新しての本番となる。11m越えをまずは出すことがノルマ。嶋田はここ最近、モチベーションを高く維持し、練習に励んでいる。こんな姿は見たことなかっただけに、この試合に期する所は大きいのだろうと感じられる。目指すは表彰台、そして12m越えとなる。矢川はポテンシャルの高さと記録がまだマッチしてこない。ここで一つ壁を越えられるか。

### 円盤投

久下 哲寛 (5)	NR
佐藤 慎祐 (4)	30m99
矢川 勝太 (2)	31m70

この種目にはシーズン入ってからの挑戦で一気に枠を勝ち取った久下、下位入賞常連の佐藤、ここで一気にブレイクと行きたい矢川が出場する。久下はハンマー一投の傍ら、円盤にも手をだし、はじめはしっくり来なかった投げも次第によくなってきた。もう3投まで勝ち進めるか。佐藤は円盤に関してはここ2年ベストから離れている。七大の相性の良さだけは誰よりも誇るの、ここでまた記録、そして表彰台を狙えるか。矢川も同様に表彰台を狙う。練習の力を考えれば、まだまだ記録の伸びしろはある。佐藤を越え、表彰台を狙う。

### ハンマー投

久下 哲寛 (5)	41m70
佐藤 慎祐 (4)	34m72
嶋田研志郎 (4)	NR

この種目には今年に入って記録の上昇カーブを描き続けている久下、最近の練習で上昇カーブを描き始めている佐藤と嶋田が出場する。久下はその研究熱心さと地道な努力の甲斐あってその成果が発揮されている。狙うは表彰台。佐藤は少しずつコツをつかみ始め、よりハンマー投げらしくなってきた。1点でも多く点を取りに行く。嶋田も少しずつ記録に結びつく投げが出来始めた。本番での強さは練習量に比例する。きっといい記録が望めるに違いない。上昇をやめないこの3人が先陣を切り、七大での京大の上昇気流を生み出す。

### やり投

佐藤 慎祐 (4)	53m21
川島 龍樹 (2)	39m61
田中 皓介 (2)	43m03

この種目にはこれで4種目となる佐藤、ここで一気に記録更新が期待できる川島、その器用さとバネでうまくやりを操る田中が出場する。叫ぶ姿がどうもなじみになってきている佐藤。この種目に関してもこの大会の相性の良さは誰よりも誇る。不調気味ではあるが、そんなものは関係ない。気迫で押し切って1点でも多くもぎ取る。川島は跳躍から転向して真面目に練習を重ね、学内で行った記録会でまるで別人のような投げを見せた。本番ではその姿をもう一度見せられるか、そして一気に飛躍できるか。田中は棒高跳後の投擲と

なる。そのポテンシャルからは更なる記録が期待できる。本人も期する所はあるだろうが、まずはリラックスして初の投擲正選手として楽しんでもらいたい。

## **女子砲丸投**

富田 夏希 (4)	7m34
市塚 友香 (2)	6m21

この種目には女子トラック・フィールドのおいての大黒柱・富田、着実に記録を伸ばしてきている市塚が出場する。バネの強さで記録を出せる富田、本番の消費が吉と出るか凶と出るか。総合で勝つにはここで1点もぎ取りたい。市塚はここまで積極的に砲丸投げの試合に出場、場数は踏み、着実に記録を伸ばしてきている。その成果をこの大舞台で発揮できるか。そのためには思い切りよく投げてもらいたい。

個人戦・記録会などの結果

(2009年5月10日～2009年7月18日)

第3回京都陸協記録会(5/10 西京極)

▼100m			
前田 靖朋	11.87	-1.2	
川室 太希	12.14	-1.5	
▼400m			
吉川 直樹	51.85		
山瀬 康平	53.11		
内田 健弥	57.27		
▼1500m			
大川 亮	4.16.99		CB
内田 健弥	4.25.01		PB
白石 晃将	4.27.23		
▼400mH			
山口 芳弘	57.01		
▼棒高跳			
小西 康晴	4.00		
▼砲丸投			
皆川 広太	8.29		
▽3000m			
上田 容子	11.50.88		CB

南勢志摩陸上競技大会(6/6 三重県営)

▼100m			
前田 峰尚	11.56	+0.1	
▼200m			
前田 峰尚	23.62	±0.0	

兵庫実業団記録会(6/13 尼崎)

▼100m			
吉田 繁治	11.17	-1.5	
吉川 直樹	11.50	-1.4	
眞武 俊輔	11.56	-1.5	♪
藤崎 淳	11.57	-1.4	
秋元 一志	11.57	-1.4	
藤澤 健斗	11.69	-2.7	♪
山田 諒	11.80	-2.1	
前田 峰尚	11.80	-1.5	
小西 康晴	12.45	-2.2	
小長谷幸平	12.73	-2.7	
▼200m			
吉田 繁治	22.63	-0.2	
藤崎 淳	22.96	-1.5	♪
萩生 翔大	22.99	+1.0	
吉川 直樹	23.14	-0.2	
山田 諒	23.73	-1.5	
前田 峰尚	24.14	-1.5	
▼400m			
藤崎 淳	51.47		

吉川 直樹	52.52		
堀田 孝之	53.01		♪
山瀬 康平	53.03		
天ヶ瀬 匡昭	53.38		♪
鈴置 航央	54.78		
▼1500m			
水元 惟暁	4.10.63		♪
内田 健弥	4.23.72		CB
瀨瀬 悠介	4.29.70		♪
塚本 裕	4.30.13		PB
河埜 勝	4.30.44		♪
白石 晃将	4.37.46		
▼5000m			
前田 達朗	16.06.77		
松下 亮祐	16.51.03		
中桐 寛仁	17.09.20		
▼110mH			
前田 靖朋	17.00	+0.4	
清水 宏幸	18.18	+0.4	♪
▼走高跳			
松室 堯之	1.75		
▼走幅跳			
秋元 一志	6.14	+0.4	PB
小長谷幸平	5.54	+1.9	
▼円盤投			
田中 聡一	32.02		
矢川 勝太	30.07		
▼ハンマー投			
久下 哲寛	41.70		PB
田中 聡一	41.02		
▼やり投			
川島 龍樹	39.61		CB
矢川 勝太	NM		
▽100m			
富田 夏希	13.39	-1.7	PB⑤
廣瀬亜由美	14.23	-1.5	
▽400m			
岩橋 優	60.76		PB③
加奈山憲代	63.31		PB⑥
廣瀬亜由美	66.00		PB
福谷 彩織	66.20		CB
山口 咲希	68.15		♪
市塚 友香	79.02		♪
▽1500m			
伊藤 慶紗	5.47.58		♪
▽3000m			
上田 容子	11.38.74		CB
▽走幅跳			
富田 夏希	4.83	+1.0	PB⑤
▽砲丸投			
富田 夏希	6.80		
市塚 友香	6.11		PB

<b>第41回全日本大学駅伝対校選手権大会関西学連予選会(6/20 西京極)</b>				山瀬 康平	準	51.98		
京都大学 総合(上位8名) 決勝 8位 4:18.13.92				鈴置 航央	予	52.28		CB
▼10000m				萩生 翔大	予	53.69		CB
小山 俊之	31.36.74			▼800m		DSQ		
柿本 悠貴	31.55.21			大川 亮	予	1.57.65		PB
櫻井 研吾	31.55.53	PB			準	1.58.73		
小山 裕之	32.06.09			小山 俊之	5位	1.57.01		PB
坂本 剛	32.07.42	PB			予	1.58.15		PB
田中 裕介	32.30.81			水元 惟暁	準	2.00.07		
西原 由高	32.58.46	PB			予	2.59.99		
宇部 達	33.03.66			佐藤 翔士	準	1.58.03		
鈴木 達哉	33.46.15				予	2.01.90		CB
三上 翔	34.05.69				準	2.00.08		
				内田 健弥	予	2.02.59		
					準	2.00.85		CB
<b>第2回尼崎中長距離記録会(6/26 尼崎)</b>				上田 道久	予	2.04.81		
▼5000m				鈴置 航央	予	2.05.26		CB
菊川 信人	15.57.4			塚本 裕	予	2.05.92		PB
小林 啓人	16.07.9			河本 聡	予	2.08.19		
				白石 晃将	予	2.11.47		
<b>第2回静岡県長距離強化記録会(6/27 エコパ)</b>				▼1500m				
▼3000m				小山 俊之	夕決	3.56.40		
柿本 悠貴	15.02.94	PB②⑩		小山 裕之	夕決	3.58.09		PB⑩
小山 裕之	15.09.30			坂本 剛	夕決	4.04.19		PB
西原 由高	15.35.62	PB		西原 由高	夕決	4.09.35		PB
				柿本 悠貴	夕決	4.24.16		
<b>関西学院大学競技会 (6/28 関学グラウンド)</b>				▼5000m				
▼400m				櫻井 研吾	決	15.16.15		
水元 惟暁	53.2	♪		▼110mH				
▼800m				前田 靖朋	予	16.43	-0.1	PB
水元 惟暁	1.59.4	♪		大橋 正義	予	16.53	+0.5	
内田 健弥	2.01.9	CB		▼400mH				
浅井 健介	2.03.5	♪		岡本 京祐	予	57.89		
▼1500m				大橋 正義	予	57.90		PB
不破 佑太	4.19.7	♪		▼3000mSC				
高田 裕人	4.49.8	♪		山田 唯	3位	9.35.41		
▼110mH				中桐 寛仁	決	10.31.28		
清水 宏幸	17.7	-1.5	CB	中村 秀樹	決	10.50.75		
▼400mH				▼10000mW				
岡本 京祐	59.3			永田 和寛		DSQ		
▽800m				▼4×400mR				
市塚 友香	2.58.9			小山俊-萩生-吉川-山瀬	予	3.23.69		
				吉川-萩生-山瀬-大川	2位	3.23.42		
<b>第64回京都陸上競技選手権大会(7/3-5 西京極)</b>				▼走高跳				
▼100m				巳波 壮馬	決	NM		
眞武 俊輔	予	11.22	+1.4	CB	▼棒高跳			
藤澤 健斗	予	11.24	+1.4	CB	小西 康晴	決	4.20	PB⑤
小段 裕太		12.20	-0.9	♪	▼走幅跳			
▼400m				谷口 康晴	決	6.62	+1.6	
藤崎 淳	予	51.03			▼三段跳			
				秋山 源	決	13.01	+1.3	

▼ハンマー投			
田中 聡一	決	41.79	
▼十種競技			
三浦 裕介		5314	
12.03(+1.3)-5.98(+1.5)-9.90-1.85-56.20			
17.62(-0.9)-29.59-3.50-38.97-5.18.06			
佐藤 慎祐		3646	砲丸PB
12.13(+1.6)-5.37(+0.9)-10.76-NM-59.87			
20.66(-1.1)-30.99-NM-47.94-5.57.47			
皆川 広太		DNF	
11.84(+1.3)-5.59(+0.7)-8.19-×-×			
×-×-×-×-×			
▽100m			
富田 夏希	予	13.16	+1.5
	準	13.32	+0.9
▽4×100mR			
廣瀬-富田-加奈山-岩橋	予	51.84	③
廣瀬-富田-加奈山-岩橋	決	53.26	
▽400m			
加奈山憲代	予	63.37	
▽800m			
福谷 彩織	予	2.28.16	CB⑧
▽1500m			
山添 由貴	予	5.11.55	CB
▽砲丸投			
市塚 友香	決	4.73	+1.5 PB

**第77回大阪府陸上競技選手権大会**  
(7/4-5 長居第二)

▼100m			
吉田 繁治	予	11.13	+1.3
	準	11.06	+1.4
▼4×100mR			
秋元-吉田-久保-吉川	予	42.42	
▽800m			
岩橋 優	予	2.15.53	蒼穹新

**第74回岐阜県陸上競技選手権大会**  
(7/4-5 長良川)

▼棒高跳			
田中 皓介	4位	4.40	
秩父宮賜杯第62回西日本学生陸上競技大会対抗選手権大会 (7/10-12 丸亀)			
▼400m			
萩生 翔大	予	50.08	
▼800m			
佐藤 翔士	予	1.56.84	
▼1500m			
小山 俊之	予	3.56.90	
	2位	3.56.05	
小山 裕之	予	3.59.07	
▼400mH			
	予	56.93	

▼3000mSC			
山田 唯	夕決	9.41.47	
▼10000mW			
生谷 隆磨		54.42.57	
永田 和廣		DSQ	
▽			
岩橋 優	予	2.14.36	
	決	2.14.19	

**第72回三重県陸上競技選手権大会**  
(7/11-12 三重県営)

▼100m			
秋元 一志	予	11.38	-1.4
	準	11.72	-2.3
前田 峰尚	予	11.51	-0.3
前田 靖朋	予	12.00	-2.3
▼200m			
前田 峰尚	予	23.37	-
▼100mH			
前田 靖朋	予	16.43	±0.0 PT
▼棒高跳			
秋元 一志	決	4.40	

**第68回滋賀県陸上競技選手権大会**  
(7/11-12 皇子山)

▼3000mSC			
不破 佑太	決	10.02.63	♪

**第64回宮城県陸上競技選手権大会**  
(7/11-12 宮城スタジアム)

▼1500m			
三上 翔		4.19.46	
▼5000m			
三上 翔		16.12.18	
第4回大阪体育大学競技会 (7/18 浪商グラウンド)			
▽200m			
加奈山憲代		27.61	-0.1 ♪⑨

**記号の見方**

▼：男子種目   ▽：女子種目  
PB：自己新記録  
PT：自己タイ記録  
CB：大学における自己新記録  
♪：大学初レース  
I：1次レース   II：2次レース  
**蒼穹新**：蒼穹新記録  
○数字は蒼穹ランク(20位まで)







---

蒼穹ニュース 平成21年度 第3号

平成21年7月21日 発行

---

発行所：京都大学体育会陸上競技部

編集者：白石晃将・田中皓介・山口芳弘（副務）

特別協力：鈴木大河・宿院 享（学連員）

内田健弥（記録係）・秋元一志（HP係）

写真担当：大橋正義・松井大門・塚本裕

---

陸上競技部 HP <http://www.kusu.kyoto-u.ac.jp/~athletic>

ミラーサイト <http://www.kusu.kyoto-u.ac.jp/~athletic/index.html>

陸上競技部記録 HP <http://www.kusu.kyoto-u.ac.jp/~athletic/kiroku/index.htm>

関西学連 HP <http://gold.jaic.org/icaak/index.htm>

メールアドレス [y-yoshihiro@art.email.co.jp](mailto:y-yoshihiro@art.email.co.jp)（山口芳）

